

inkumi 広島

VOL. 408
令和2年8月

発行／広島県印刷工業組合

発行人／中本 俊之

広島市西区南観音一丁目1番22号 TEL(082)293-0906 FAX(082)293-0954

URL : <http://www.hiroshima-pia.jp> E-mail : h.inkumi@estate.ocn.ne.jp



**“最近”新型コロナウイルスの感染が広島でも増加傾向にある
まだまだ、三密を控え、ソーシャルディスタンス(社会的距離)で行動
新型コロナウイルスは、まだ身近に潜んでいる!
1人ひとりの注意と関心が 感染防止につながる!**

令和2年7月豪雨災害のお見舞い

令和2年度上期中国地区理事長会開催

中国地区協議会 中本俊之会長挨拶

全印工連 滝澤光正新会長挨拶

新役員紹介 隅川 通治 理事

新役員紹介 小山 敏幸 理事

新役員紹介 当田 信幸 理事

夢メッセ開催告知ポスター決定

福山支部だより

事務局だより

『今年もあの暑い忘れられない8月6日がやって来る』

私たち広島人、いいえ全世界の人たちが忘れてはならない日が今年もやって来る。75年前の1945年(昭和20年)8月6日、8時15分に世界で初めての原子爆弾がここ広島に投下され、言葉では言い表せない大きな、悲惨な被害を受けた。この日は毎年この平和公園で、多くの人が原爆死没者の霊を慰め、世界の恒久平和を祈念する。しかし、今年は新型コロナウイルスの影響で、広島市長は参列者席を例年の1万1500席と比べ大幅に減らし、最大880席にすると発表した。祈りを捧げに行かれる人は、十分注意されて行ってください。

既に、新型コロナウイルスで世界の人々が7月26日時点、感染者約1,611万人、感染死者が約64.6万人となっている。決してあなどらないでください。

令和 2 年 7 月の豪雨災害にあたり 心からお見舞いを申し上げます

広島県印刷工業組合
理事長 中本 俊之

このたびの甚大な豪雨災害により、九州、中国、四国、信越、関東地方と広範囲にわたり大きな被害を生みました。多くの死者、行方不明者及び被災者に対し、心よりお見舞い申し上げます。猛暑の中、復旧作業は大変ですが哀悼の意を表し、ご無事を祈り、そして、早く平穏な日々になることを願っております。

令和 2 年度上期 中国地区理事長会開催 ～上期中国地区印刷協議会は中止～

コロナ禍により令和 2 年度上期中国地区印刷協議会を 7 月 3 日(金)、松江市で予定していたが中止となった。

代わりに Web 会議で、中国地区理事長会が 7 月 3 日午後 3 時より開催され、全印工連から、滝澤光正新会長、池尻淳一専務理事、瀬田章弘・鳥原久資・浦久保康裕各副会長が、また、中国五県の各工組から理事長、役員、事務局長などが出席された。

始めに、中本会長挨拶、滝澤全印工連会長挨拶等があり会議に入った。

会議次第

中国地区印刷協議会会長挨拶 中本俊之
全印工連会長挨拶 滝澤光正
全印工連事業説明 専務理事 池尻淳一



議事

- ・新型コロナウイルスの影響による全印工連、組合運営について
- ・令和元年度収支報告、令和 2 年度の予算(案)の件報告のとおり承認
- ・中国地区協、令和 2・3 年度役員(案)について
- ・その他

以上を午後 4 時 45 分に終了した。

【中本俊之中地協会長挨拶要旨】

「新型コロナウイルスが及ぼす危機的状況」は デジタルを有効かつ安全に利用できる会社が新しいビジネスを作っていく！

まずは、新型コロナウイルスですが、イベント中止や消費マインドの悪化で受注や売上が減少してたいへんな状況になっています。印刷用紙の内需見込みや印刷産業の市場規模は、経済産業省の 2019 年の工業統計(速報)が発表され、印刷・同関連業の製造品出荷額は、前年比 5.3%減の 4 兆 8,061 億 2,900 万円で、5 兆円を割り込んでいます。付加価値額も 2 兆 2,220 億 6,200 万円で、同 5.1%のマイナスです。事業所数も 9,862 事業所で同 3.7%減となり、1 万事業所を割りました。非常に厳しい状況です。2 月の下期の地区協では 7 年連続で 5 兆円をキープしていますと言ったばかりですが今の状況は厳しいです。

そして、紙の出荷量につきましても、4 月は印刷・情報用紙は 19.7% 減、5 月は 33.2% 減でリーマンショッ

クに続き 2 番目の大きな減少になります。日本製紙連合会の野沢徹会長は先月、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う 2020 年の国内の紙・板紙の需要について、イベントの中止で広告・チラシの需要が大幅に減り、「急激な回復は見込めない」との見方を示しておりました。

新型コロナウイルスが中小企業の経営に及ぼす影響としましては、今の危機的な状況乗り越え、新しい時代を生き抜くために、新型コロナウイルスにおけるビジネス環境を「オン・コロナ」、「ウィズ・コロナ」、「ポスト・コロナ」の 3 段階で捉えてみる事が出来ると思います。まず、緊急事態宣言が発令されている「オン・コロナ」では、運転資金の確保や今後の見通し予測が重要なことであり、そして、それが緩和され限定された状況下で事業が始まっております「ウィズ・コロナ」では、どこで

利益を確保できるかを見極めが重要になろうかと思います。また、「ポスト・コロナ」では、ニューノーマルとして新しい働き方やビジネスモデルをどう作っていくかが重要になると考えられます。我々は、「オン・コロナ」を経験している訳ですが、さまざまな無駄や無理が明白になり、持続可能性の重要性が浮き彫りになりました。

【滝澤光正新会長挨拶要旨】

新しい社会経済は、私たちの産業の成長を目指すうえで、印刷産業の構造改善が必要

始めに、この新型コロナウイルスですが、一時、感染拡大が落ち着いたやに見えましたが、また昨日今日、東京では100名を超え、大変心配な状況が続いております。また、全国の皆さんの声をうかがいますと、当然ですが、この経済が止まったことにより、需要減、大幅な売上げの減少に見舞われているということは、承知をしているところです。こうした状況で、組合が果たすべき使命は、やはり、連帯・共済・対外窓口という基本機能に尽きるもので、1社では解決ができない共通の課題に対して、力を合わせて皆さんで解決を図っていく、そのことが組合の役割であります。目下のこの状況では、まず経営に有用な情報の収集と、一早い組合員の皆さんへの発信に努めているところですが、さらに組合員の皆さんからのお声を集め、組合として行政や議会にしっかりと要望して、私たちの経営改善に資する施策の実現に努めたいと思います。

先般、6月18日に、自民党の中小印刷産業振興議員連盟の総会が行われ、その際、私どもから印刷業の現状、そして新たな要望を申しました。詳しくは、既に業界紙等にも掲載されており、ご承知の方もあろうかと思いますが。

また、これからの新しい生活様式として迎える、新しい社会ですけど、今まで経験したことのない社会経済環境であることが予想されます。従来から、私たちはソリューション・プロバイダーを目指すということで、単なる請負型製造業から脱却した新しい課題解決業としての模索、成長が続いてきましたが、今後のウィズコロナ、アフターコロナの社会を考える時に、ますますその取り組みの重要性が増していくものだと考えています。全印工連では、従来から「Happy Industry 人々の暮らしを彩り幸せを創る印刷産業」のグランドスローガンのもと、さまざまな事業を行ってききましたが、私もそれをしっかり引き継いで、引き続き社会において、この印刷業の役割というものが大きくなるように努めてまいりたいと思います。

さらに今年度から、この新しい社会経済においても、私たちの産業の成長を目指すうえで、印刷産業の構造改善が必要であり、その一環として、生産性向上のためのデジタルトランスフォーメーションの導入を図りたいということで、事業計画の基本方針に謳わせていただきました。

その他、従来から組合ではさまざまな共済事業であると

これから印刷業界においてもビジネスのあり方において、デジタルを有効かつ安全に利用できる社会が、新しいビジネスを作っていくことになると思われます。

今から話がある全印工連の「令和版印刷産業構造改善提言」に期待しています。

か、特別ライセンスプログラムなど、企業価値向上に資する事業を多く行っております。組合員の皆さんには、引き続きそういった組合メリットを最大限事業経営に活かしていただきたいと思います。

そして、今年10月に予定しておりました、「全日本印刷文化典長野大会」ですが、この開催の可否について、先般、主催地区、開催地、そして私とで協議をし、まず、参加をされる皆さんの安全、それから迎え入れる長野県の皆さんの体制等々、さまざまな観点から検討させていただいた結果、大変苦渋の決断でしたが、開催を1年延期するに至りました。しかし、本来予定されていた10月9日に、オンラインで全印工連フォーラムを開催し、情報発信をしたいと考えております。

全国の組合員の皆さんには、引き続き厳しい環境ではありますが、こういった環境であるからこそ、組合に積極的に参加いただいて、仲間同士の志を共にして、引き続き、印刷産業 Happy Industry として未来につないでいきたいと思っておりますので、どうか皆さまのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。



私たちは新しい時代に
チャレンジしつづけます。

最新コンピュータによるDTP一貫システム

企画デザインから
編集作業まで

DTPシステムにより
スピーディーな製版作業

大小すべての印刷物に
対応する各種印刷機械



大東印刷株式会社
〒723-0052 三原市皆実4丁目5番30号
☎(0848)62-3389(代) FAX(0848)62-3399

【新役員紹介】

『変化対応型人財』の育成について

株式会社アドプレックス

代表取締役社長 隅川 通治



今年度より石原に代わり理事を仰せつかりました隅川と申します。

石原の代理として1年7ヶ月余り経ちますが、改めてどうぞよろしくお願いいたします。

弊社は昭和26年（1951年）6月に印刷、広告を業務とする会社として広島市幟町に設立し、現在舟入南町を本社として、印刷、広告、出版、採用支援、ウェブ関連等の企画から実施・施工までを業務とする総合サービス企業として、本年で69年を迎えております。コロナ禍の影響で取り巻く環境は厳しい状況ですが、来年6月の創立70周年に向け、全社員一丸となって奮闘しているところです。これまでご支援・ご協力をいただいた広島県印刷工業組合の会員の皆さまに対し、心から厚く御礼申し上げます

私自身は一昨年10月に、中国電力の販売事業本部から右も左もわからない印刷業界に籍を置く会社の舵取りを任せられ、当初は何かと戸惑うことが多かったように思います。

現在、弊社に限らず、ほとんどの企業が厳しい状況にあります。そういった中で、実際にコロナ禍に即した新事業として、例えば飲食店の食券を来店前に購入する仕組みやタクシー事業者による貨物配達サービスをはじめ、オンラインでのサービス提供・非接触関連ビジネスなど、今までになかった変化対応型のサービス・業態が続々と生まれています。

我々のまわりに起こる変化に対応できる企業に成長するためには、『変化対応型人財』を育てていかなければなりません。

『変化対応型人財』には次の4つの要素が必要だと思われる。

まず第1に「関心力」です。これは、社会全体や自社まわりの変化に関心を持ちアンテナを張る力のことで、新聞・業界紙・書籍・人脈などの外部情報に頻繁に触れることが大切です。

次に「気づき力」です。これは、溢れかえる情報から自社または自分の改善に活用できる情報に気づく力のことで、そのためには常に問題意識や当事者意識を持ち合わせておくことが必要です。

3つ目として、「転換力」です。これは、有益な情報を自社または自分に当てはめて、改善行動に転換でき

る力のことで、狭い視野ではなく会社全体の事を把握した上で発想の広がりを持つことが大切です。

4つ目として、「実行力」です。これは、改善方針を作成し、自ら実行する、または周囲に実行させる力のことで、目的・目標を明確にして周囲を巻き込みながら作成した計画やプロジェクトを進めることが大切です。

『変化対応型人財』の育成が急務であるいま、弊社もこの4要素を指標とした社員育成にこれから注力していきたいと考えています。全社員が変化対応型組織に必要な要素である、「関心力」「気づき力」「転換力」「実行力」の4つの力を高め、どのような変化にも迅速に、うまく対応できる強い会社に成長していきたいと心から強く願っております。

そして、経営理念として唱えている「お客さまや地域とのつながりを創り、育て、豊かな社会づくりに寄与する」ことができるよう、また、心がまえである「私がやる協力する熱く・明るく・迅速に」を合言葉に、社員とその家族の幸せを第一に考え、これからも引き続き全社員が一丸となって、経営目標達成による社業の発展を目指し、挑戦してまいります。

最後になりましたが、微力ながら広島県印刷工業組合の運営と業界発展に貢献できるよう努めてまいります。これからも、引き続き、皆さま方のご指導、ご鞭撻を賜りますよう衷心よりお願い申し上げます。

化学で彩りと快適を 提案する

DICグラフィックス株式会社は、Color & Comfort by Chemistryという経営ビジョンのもと、化学の力で暮らしに彩りをそえ、より快適な社会づくりに貢献していきます。



Color & Comfort by Chemistry

DICグラフィックス株式会社

ディー・アイ・シー

【新役員紹介】

環境にやさしく

中国印刷株式会社

取締役営業担当

小山 敏幸



昨年6月の担務変更により、室井に代わり理事を務めることになりました小山です。営業担当となり1年余りたちますが、改めてよろしくお願いいたします。

弊社中国印刷は、昭和17年6月に印刷会社として中国新聞社内に創立。昭和53年8月西区商工センターに井口工場が完成し、新聞オフセット輪転機を導入して聖教新聞・公明新聞の受託印刷を開始。新たに商業オフセット輪転機も導入し商業印刷を開始しました。

現在は、平成17年から稼働した廿日市「ちゅーピーパーク」の大野工場内に本社を移し、「環境にやさしく」をテーマに、環境に配慮した製品づくりに取り組んでいます。かつて取得していた品質及び環境ISOの知識・活動をもとに、営業部では自然にやさしい素材選び、再生紙利用など、見えないところでも「エコロジー」を心掛けています。

新聞印刷事業本部では、大野工場が第一種エネルギー管理指定工場に認定される以前から、中国新聞広島制作センター、中国新聞輸送とともに「エコ推進委員会」を設けて環境にやさしい工場を目指し活動をしています。

営業部、新聞印刷事業本部とも環境、印刷に対しての一番のこだわりは「業界一の高品質」で、決して妥協しません。商業印刷は、チラシ・ポスター・各種出版物の印刷、オリジナル商品の企画・販売もしています。新聞印刷は大野工場4セットを運用し、中国新聞はじめ新聞7紙を受託印刷しています。

私は中国印刷の拡張期である、昭和55年4月に入社し新聞部に配属されました。以降40年近く新聞印刷一筋でしたが、現在は営業担当として営業の勉強中

です。入社当時の中国印刷は、商工センター印刷団地の西のはずれに工場がありました。当時工場は新しいのですが、現在のように湿度調整ができる設備はなく、冬場の乾燥時には巻取紙の糊が乾燥し断紙が多発して苦労した記憶があります。

平成13年5月には中国新聞井口工場を移管し、中国新聞の受託印刷を開始しました。中国新聞井口工場の輪転機は三菱重工製だったため、電気メンテナンスの勉強で三菱三原へ出張。以降、実印刷には携わず日勤帯は電気メンテナンス、夜勤帯は統括業務を担当することになりました。平成17年10月には、大野工場に最新鋭の三菱製輪転機2セットを導入。この時私は、大野工場へ異動組で印刷機の取り扱い講習は受けず、電気メンテナンスに特化した講習を受けました。平成23年5月には井口工場を閉鎖して大野工場に完全移転、現在は計4セットの輪転機を運用しています。

ところで、私事で恐縮ですが、令和に改元されてすぐの昨年5月、孫が2人誕生しました。双子ではなく1日に私の長女が男の子を、10日に私の長男にも女の子が誕生しました。長女のほうの孫は千葉に住んでいるのですが、テアトルアカデミーという総合芸能学院に40倍の難関を乗り越え合格しました。将来どんなCMに起用されるのか、“じいじ”の妄想は膨らむばかりです。

最後になりましたが、コロナ禍の中大変な時期ではありますが、広島県印刷工業組合の発展に少しでもお手伝いできればと思っています。引き続きよろしくお願いいたします。

新しいネットワーク時代を担う

印刷機械材料の総合商社

合同印刷機材株式会社

広島市西区商工センター4丁目13-3

電話 (082) 277-8822

FAX (082) 277-8828

"環境対応型枚葉インキ"

SAKATA INX™

Dianon® ELOPURE

ECO2.7

J シェイプド PRIDE

印刷

現場対応+環境対応+and more

Speedy

Easy

新聞発の樹脂ワニスでセット時間の短縮を実現し、裏移りを抑制!!

安定性と作業性を両立

Beauty

幅広い印刷条件に適合し、より美しい印刷品質を得られます。

Ecology

インキ配合から石油系溶剤を削減したインキです。

サカタインクス株式会社 中国支店

〒730-0826 広島市中区南吉島 2-3-57 TEL 082-248-0300

【新役員紹介】

と き
時代の流れ…

当田印刷株式会社

代表取締役 当田 信幸



今年度より呉支部の支部長を拝命し、広島県印刷工業組合の理事を仰せつかりました当田と申します。先代（叔父）、先代（父）とも県の理事を務めておりましたが、2人に負けないよう立派に務めてまいりたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

さて弊社は今年創立 70 周年、設立 50 周年の節目の年に当たります。昭和 25 年に呉の地において私の祖父が開業したのが始まりです。祖父には 3 人の息子がおり、長男（私の伯父）は当時税務署に勤務しておりましたが、祖父が印刷会社を立ち上げるに当たり、勤めていた税務署を辞め祖父を手伝うことに決めたようです。続いて当たり前のように次男（伯父）、三男（父）が祖父の仕事を手伝うようになり親子 4 人で営むようになりました。印刷会社を立ち上げる前は食料品店を営んでおり、戦時中の混乱の中、食糧難で困っていたがうちの家はそうでもなかったと父が話していたのを覚えています。戦後になり本格的に食糧不足となり、店として立ち行かなかったのを店を閉じ、畑違いの印刷会社を立ち上げて現在に至っています。

昭和 29 年に広島県印刷工業調整組合が日本印刷工業調整組合に加入した時、祖父も組合員として名前を連ねておりましたが、昭和 38 年 11 月 24 日に 61 歳で亡くなりました。私は昭和 39 年生まれですが出産予定日が祖父の命日の 11 月 24 日でしたので、何か私に言っておきたいことでもあったのではないかと、いまではふと思うことがあります。

初代、二代、三代、四代（現在）まで受け継いできた会社ですので、次の代に引き継げられたら良いのですが、私の 4 人の息子は少しも印刷に興味を示しません。長男は呉の会社に勤め、すでに家庭を持ち二人の子ども（男の子）に恵まれて暮らしております。次男

は広島市の建設会社に勤めて 2 年目になり、一人暮らしを満喫しております。三男は大学生ですが就職や将来の話を全くせず「こいつ大丈夫か？」と思っています。四男はと言えば現在高校生ですが次男の一人暮らしの生活に憧れ、大学は県外に行きたがっていますが、「他県に行くんだったら国立しか行かせん！」と釘をさしたばかりなので最近では真剣に勉強に取り組んでいるようです。このように息子たちは曾祖父、祖父、父、が築いてきた会社には興味をもたず、今は楽しく我が道を進んでいます。

以前私は、その息子たちが小学校、中学校、高等学校、高等専門学校の時に PTA・後援会の会長を務めて参りましたが、どの学校の校長先生も生徒へ話をされていたことがあります、それは「今ある職業は 10 年後には 3 分の 2 になり、20 年後には 2 分の 1 になります。世の中は大変速いスピードで変わっていますので、皆さんはその変化に柔軟に対応できるようになってもらいたいです」という話です。今やパソコンやインターネットの普及で一般の人が何でも作れるようになり、プリンターやコピーの性能が上がり簡単に綺麗なものが出せ、薄物の伝票類も必要な時に必要な数だけ出せたりします。わずか 8 人ほどの弊社のような会社は今後ますます厳しくなると思われます。何かに特化したものを見つけ、素早く、そして柔軟に対応していかなければなりません。そのためには常にアンテナを張り巡らせどんな情報にも耳を傾け、何にでも挑戦していく心構えです。

それがたとえばらの道であっても時代の流れに必死について行きます。30 年後の創立 100 周年を迎えるその日まで…

オンデマンド印刷 ポスター バンフレット
チラシ クリアファイル シール 広報誌
新聞・書籍 DM 一般事務用印刷



当田印刷株式会社

広島県呉市阿賀南 2 丁目 9-47
TEL (0823) 71-7762
FAX (0823) 73-1848



株式会社 金陽社 広島営業所
☎725-0002 広島県竹原市西野町1561-1
☎0846-29-1011 FAX0846-29-1229

「2020印刷産業夢メッセ第3回三役会開催」

第16回目の開催告知ポスター決定! 次回開催で採用に

～ 応募者は16作品 コロナ禍で応募が大幅減少 ～

お陰さまで、今回も16作品(応募会社4社)の応募がありました。皆さまのご協力に改めて感謝申し上げます。夢メッセ三役会のメンバー18名の投票による厳正なる審査を行ったところ、1次の審査で6作品を選定、その作品でまた投票による審査を行った結果、3作品を選んだ。グランプリ作品は最高得点の(株)原色美術印刷社 阿部浩志氏の作品に決定、準グランプリは、昨年も準グラ

ンプリの(株)中本本店の野村朱里さんと(株)原色美術印刷社 石丸祐加さんにそれぞれ決まった。準グランプリ以上の3作品の受賞者については、次回の夢メッセ2日目の懇親会会場にて表彰式を行います。

2020年のポスターは決定しましたが、惜しくも準グランプリ、佳作等になられた方も、また次回のチャレンジをお待ちしています。

● グランプリ作品 ●



(株)原色美術印刷社
阿部 浩志 氏

● 準グランプリ作品 ●



(株)中本本店
野村 朱里 さん



(株)原色美術印刷社
石丸 祐加 さん

● 入選13作品 ●



【福山支部6月例会】

久しぶりの例会、そろりそろり始めます

6月25日(木)、福山支部価値組委員会の6月(第202回)例会を開催しました。

新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、2月例会以来になる4カ月ぶりの例会でした。感染防止に最大限に気をつけながらも、久しぶりの開催に、そして久しぶりの皆さんの顔を見られたことに、ドキドキと嬉しさを感じました。

冒頭で3期6年福山支部のために力を尽くしてくださった浅田前支部長より退任のご挨拶をいただきました。6年…それ以前の価値組委員長時代からのリーダーシップを取ってくださったいろいろな事業が思い出され感慨深いものがありました。

続いて、今年度から支部長を受けてくださった小田(新)支部長より就任のご挨拶と今後の抱負をお聞かせいただきましたが、今の厳しい状況下ではありますが、また支部メンバー一致団結して、前向きな事業を展開していければと意を新たにすることが出来ました。

とにかく集まったことに感謝しつつ、皆さんの近況や今の取り組みをお互いに語り合い、自分や自社に置き換えて考える良い場になりました。新年度の事業は、今のコロナ禍の状況で出来る事と出来ない事がありますが、創意工夫をしながら楽しく取りんでいければと思っています。(占部)



[ソーシャルディスタンスに気をつけながら開催]

事務局だより

◎組合のうごき

7月	3日	中国地区委員会報告会・理事長会	WEB会議
	15日	産業戦略デザイン室会議	WEB会議
	16日	JPPS研修会	印刷会館
	17日	常任役員会	WEB会議
8月	20日	常任理事会・拡大理事会・常設合同委員会	中止 印刷会館
	26日	GP概要説明会開催	印刷会館

9月は「印刷の月」 メモ帳を、コロナ禍で ご尽力された方々に！



今年の「メモ帳配布」はコロナ禍で「3密」を守ることにし、手渡しは受け取る側の立場になると拒否をせざるを得ない状況にあるので、例年の八丁堀交差点付近においての配布は中止といたします。

代わりに、コロナ禍の中で大変な活動やご苦労などされた病院関係者、救急隊や福祉施設などへ提供し、使用していただくように計画しております。

勿論、組合員には例年通り支部長を通じてお配りしますので、ご活用ください。



KIKKAWA PAPER

株式会社

吉川紙店

〒733-0833

広島市西区商工センター六丁目7番7号

電話 代表 (082) 277-5811 番

FAX (082) 277-5816 番